



## 第10回 熊本YMCAインターナショナル・チャリティーラン

障がいのある子どもたちを支援するとともに、“障がい”への社会的な理解と関心を高めることを目的とした第10回熊本YMCAインターナショナル・チャリティーランを2025年11月16日(日)に開催しました。益城町総合運動公園を会場に、競技参加者、ボランティア等約650名が来場。今年も全国大会委員長である富田宇宙さんが来熊し、大会を盛り上げました。未就学児の子どもたちによる400m走やYMCA水前寺幼稚園の年長児のマラソン大会でスタート。その後、個人ラン、熊本YMCA学院のクラス対抗リレー、5名がタスキをつなぐグループラン、家族で楽しむファミリーランを実施し、最後は自由参加のファイナルランで締めくくりました。



水前寺幼稚園の年長児のマラソン大会



富田宇宙さん(写真左)も軽やかに走行



マイペースで楽しむ参加者たち



リーダーによるカッコいいゴールシーンも

### コスチュームコレクション



実行委員長(?)の開会宣言に会場はびっくり



あのキャラクターも懸命に走ります



かわいくまモンたちも



園児たちの応援を背に...



サンタもゴール!

### 体験プログラム・その他



目が見えない状況でのブラインドラン体験



障がいの有無にかかわらず競い合えるスポーツ「ボッチャ」体験



車いすでの走行体験



抽選会也大盛り上がり

チャリティーランの  
報告はWebでも  
ご覧いただけます





## I n f o r m a t i o n

## 熊本バンド結盟150周年記念行事

熊本洋学校で教師ジェーンズの薫陶を受け、花岡山でキリスト教を奉じこの教えを日本全国に宣布しようと結盟し、その後「熊本バンド」と呼ばれた青年たち。日本におけるキリスト教プロテスタントの源流の一つとなった「熊本バンド」の結盟150周年を記念して、早天祈祷会と特別講演会を開催します。

## 早天祈祷会

日 1月30日(金) 6:30～7:30(※雨天決行)

場 花岡山山頂 熊本バンド奉教之碑前

奨励 同志社揺籃期と熊本バンド

奨励者 学校法人同志社総長・理事長 八田英二さん

※早天祈祷会の模様はYouTubeにてLIVE配信します。

LIVE配信・献金方法の詳細は、熊本YMCAのWebページでご確認ください。

※前週の1月24日(土)には、花岡山の清掃活動が行われます。

併せてご参加ください。



## 特別講演会

日 3月20日(祝・金) 14:00～19:00

第1部 講演会(14:00～16:30) 第2部 茶話会(17:00～19:00)

場 日本基督教団熊本草葉町教会

講演者 小崎眞さん、岩井善太さん 費 講演会 無料、茶話会 2,000円

催 熊本バンド150周年記念行事実行委員会

共催 学校法人同志社

問 実行委員会事務局(熊本YMCA) Tel 096-353-6397

すべての人が輝ける  
職場づくり交流会

企業と企業人の社会貢献に取り組む「YMCAフィランソロピー協会」が、「すべての人が輝ける職場づくり交流会」を開催します。特に外国籍の方に目を向け、留学生や実際に働いている人だけでなく教育機関や企業・団体のそれぞれの思いを聞くことができる時間となります。よりよい職場を目指すために、我々が取り組むべきことが見つかる機会となるでしょう。

日 2月4日(水) 14:30～16:30

場 熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンター(熊本市中央区段山本町4-1)

費 無料

定 80名

内 トークセッション、グルーブトーク&交流

催 YMCAフィランソロピー協会

問 YMCAフィランソロピー協会事務局(熊本YMCA)

Tel 096-353-6397

申 Webサイトからお申込みください。

いじめについて考える  
ピンクシャツデー

2007年、カナダの男子学生がピンクのシャツを着ていじめに遭ったことを発端に、世界各地に広まったいじめ反対運動「ピンクシャツデー」。YMCAも全国各地の拠点で毎年取り組んでいます。

## YMCAピンクシャツデーの目的

- 多くの人がいじめの問題を自分事としてとらえ、「いじめをなくそう」というメッセージを自ら発信し、行動する機会とする。
- 一人ひとりが互いの存在価値を認め合い、支え合い、自分らしく生きていける社会の実現を目指す。

今年のピンクシャツデーは、2月25日(水)。熊本YMCAではこの日を中心とした1週間をピンクシャツウィークとして実施予定です。ピンクの服や小物を身に着けて、一緒にいじめや差別について考える機会を持ちましょう。

問 熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397

日 日時 場 会場 内 内容 費 参加費 定 定員 条 参加条件 持 持ち物 対 対象 催 主催 締 締切 申 申込 問 問合せ 他 その他

熊本YMCA 総主事  
伊藤眞太郎

マナ Vol.9

## ヒーロー

ある日、息子に聞かれました。  
「お父さんのお仕事って、何をするお仕事なの？」

少し考えてから、私はこう答えました。

「世界を平和にする仕事だよ。」

この言葉は私のオリジナルではありません。私が尊敬するある方が、かつて同じ問いに答えたときの言葉です。その姿がずっと心に残っていて、気づけば私も同じように答えていました。1975年に始まった「秘密戦隊ゴレンジャー」。

それから50年の時が流れ、先日シリーズ終了のニュースがありました。世の中は大きく変わりました。50年前には想像もできなかった日常が、今では当たり前になっています。子どもたちのヒーロー像はどうでしょうか。仮面ライダーも、スーパー戦隊も、ウルトラマンも、どのヒーローも共通してこんなことを語っています。「弱い人を助けたい」「仲間を守りたい」――。

どんなに社会が変わっても、その真理だけは変わらないように思います。

思えば、私の周りにもたくさんのヒーローがいます。子どもたちを見守るYMCAのリーダー、地域を支えるボランティア、仲間を励ますスタッフのみなさん――。彼らは派手ではなく、テレビ

にも映りません。けれど、目の前の人の笑顔を守り、いのちを支える力を持っています。テレビの中の、格好いいあこがれのヒーローは、“誰かのために勇気を出せる”そんな大切なヒーローの姿をいつの時代も変わらずに見せてくれていたのかもしれない。

「世界を平和にする仕事」をする私たちYMCAは、子どもたちにどんな姿を魅せることができるでしょうか。娘と息子たちにとって少しでもヒーローに近づけるお父さんでありたい。そんなことを静かに思わせてくれた、ある日の息子とのお風呂の時間でした。私は、娘と息子たちのヒーローになるため、共に喜び共に泣きたいと思います。

## R | E | P | O | R | T

表彰

## 優しさの輪が広がる 熊本市青少年善行表彰受賞



熊本YMCA学院 ホテル観光科  
渡邊和馬

熊本YMCA学院ホテル観光科1年生の田端真穂さんと野末依桜里さんが、11月19日(水)に熊本市青少年善行表彰を受賞しました。本表彰は、青少年の模範となる行いをたたえる制度で、毎年「熊本市青少年健全育成大会」において、地域への貢献や健全育成を目的として実施されています。

受賞理由は、ある朝の出来事です。二人は、支援学校に通う生徒が通学途中で困っている様子を見

かけ、迷わず声をかけ手助けをしました。生徒は満員のバスに乗っており、バス停で降りることができず、終点まで乗り過ぎてしまいました。戸惑う生徒に気付いた二人は、状況を確認し、学校へ連絡。その後、授業があるにもかかわらず、保護者が迎えに来るまで寄り添い続けました。

後日、支援学校の校長先生から連絡があり、二人の行動を知り、ためらわず行動した二人の優しさに感動を覚えました。きっと生徒も、将来また困っている人を見かけたとき、この日の二人の温かい行動を思い出すことでしょう。



チャリティー

## 癒しの時間を 市民クリスマス2025を開催



熊本YMCA学院  
吉田美華

12月6日(土)、日本福音ルーテル神水教会で「市民クリスマス2025チャリティコンサート～明日への祈り～」が行われました。熊本YMCAが事務局を務める市民クリスマス2025実行委員会が主催し、約170名が来場。第1部では、ルーテル学院卒業生「Ange brise」によるハンドベルが教会に響きわたり、続いて、日本福音ルーテル神水教会の角本浩さんが来場者にクリスマスメッセージを送りました。

第2部チャリティコンサートでは、熊本出身のシンガーソングライターである坂田飛鳥さんを中心に黒木真子さん(ヴァイオリン)、河野里菜さん(チェロ)の3人が登場。ポップで優しい演奏と、心に響く歌詞を載せた温かな歌声が会場を包み込みました。全8曲は音楽を通してだからこそ伝わる特別な時間になりました。最後に「きよしこの夜」を会場全員で賛美しました。

コンサートの益金は、能登半島復興支援と熊本豪雨災害、こどもの居場所づくり活動のために用いられます。



コンサート

## チャリティコンサート ワイズメンズクラブ主催



熊本むさしワイズメンズクラブ会長  
高本二郎

11月22日(土)、九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルで在熊ワイズメンズクラブ主催チャリティコンサートを実施しました。ピアノ奏者の竹尾明香さん、サクソ奏者の大原慧馨さん、江藤武大さんによる演奏で、クラシック・アニメ・熊本にゆかりのある演歌歌手の曲など、バラエティーに富んだ演目に会場は大いに盛り上がりしました。

本会場は、1925年にアメリカの建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計により建てられた、国の登録有形文化財です。初めて訪れた参加者も多く、随所に見られる歴史的価値の高い意匠や建築美に思わず見入ってしまうほど、たいへん印象深い建物でした。

コンサートの益金は、YMCA年末募金、熊本大学YMCA花陵会、九州ルーテル学院、九州学院へそれぞれ寄附しました。今後も様々な企画にてYMCAに貢献していきたいと考えています。



祈り

## 共に祈りを YMCA・YWCA合同祈祷会



本部事務局 木村成寿

世界のYMCAとYWCAが同じテーマを掲げて共に祈る「世界YMCA/YWCA合同祈祷週」。今年度は「ヨベルの年の祝祭; 祈りと行動の150年(Jubilee-150 Years of Prayer in Action)」をテーマに行われました。祈祷週の最終日である11月15日(土)、本館/グローバルコミュニティセンターのジェーンズホールで、熊本YMCA・熊本YWCA合同祈祷会が開催され、両団体の関係者など合わせて20名の参加がありました。第1部礼拝では、日本基督教団熊本草葉町教会牧師の森嶋道さんよ

り「安心できる居場所」をテーマに奨励が行われ、神様に目を向けるだけでなく、自分の周りに目を向けることが祈ることであり、近くにいるつながりのない人や仕事で重荷を負っている人、大事にしたい自然、平和であってほしい地域、居場所のない人々を覚えて祈ることが大切であるとのメッセージが語られました。

また、第2部の懇談会では、YMCA・YWCAからそれぞれ、募金活動やYMCAインターナショナル・チャリティーラン、市民クリスマス、ワールドカフェなどの活動紹介を行い、よき交わりと懇親の機会となりました。





# こども・若者・国際協力 YMCA年末募金

1月末まで

熊本YMCAは1月末までYMCA年末募金に取り組んでいます。

11月～12月にかけて、熊本県内を中心に15カ所で街頭募金を実施。YMCAのボランティア会員やYMCAの保育園や幼稚園、幼児園、各種プログラム等に通う子どもたち、熊本YMCA学院専門学校の学生や留学生ら約450名が道行く人々に募金を呼びかけ、522,041円の募金が寄せられました。

**2025年度  
熊本YMCA  
年末募金  
途中報告**

目標 **13,000,000円**

募金額 **7,022,502円**

募金件数 833件

(2026年1月3日時点)

## 街頭募金の様子



阿蘇の保育園の子どもたちが大活躍



かわいいユニフォームで呼びかけ



福岡県大牟田市でも実施



YMCA学院の学生、留学生も参加

## オンラインでの募金にご協力をお願いします。

### ①PayPay募金

Yahoo! JAPAN IDをお持ちの方はYahoo! ネット募金を通してPayPayでの募金が可能になりました。



### ②クレジットカード募金

熊本YMCAのWebサイトではクレジットカードでの募金を受け付けています。



## わたしのYMCAストーリー

### YMCAの経験を将来に

熊本YMCA学院 健康スポーツ科  
第10回熊本YMCAインターナショナル・チャリティーラン副実行委員長  
森 翔悟(ビッグリーダー)



私は将来、子どものスポーツ指導に携わりたいという強い思いを抱き、熊本YMCA学院へ入学しました。入学後、リーダー活動として、みなみグローバルコミュニティセンターでの体操指導に参加するようになりました。実際に子どもたちと向き合う中で、一人ひとりの性格や理解度に応じた接し方、言葉の伝え方に悩むことも多くありました。そのたびにYMCAのスタッフの方々から、丁寧で的確な助言をいただき、指導者としてだけでなく人としても大きく成長することができました。

また、チャリティーランでは副実行委員長を務めさせていただきました。全体実行委員会に関わる方々がプログラム成功のために意見を出し合い、真剣に議論を深める姿にふれ、強い一体感と組織として協力し合う大切さを学びました。YMCAでの学生生活は、多くの経験と人との出会いに恵まれ、自分の人生に大きな影響を与えてくれたと感じています。これも周囲の方々が温かく支えてくれたおかげだと心から感謝しています。

卒業後は、これらの経験を生かし、人に寄り添い支えながら成長を促せる指導者を目指して歩んでいきたいと考えています。

※このコラムではYMCAに関わる皆さんに「みつかる。つながる。よくなっていく。」「ポジティブネットのある豊かな社会」をテーマに寄稿をいただきます。

## ワイズメンズクラブリレーコラム

### 七十にして矩を踰えず

熊本ひがしワイズメンズクラブ 会長 横田 博

皆様、こんにちは。私は2004年4月にチャーターメンバーとしてひがしクラブに入会しました。

本日は、ひがしワイズメンズクラブの活動についてご報告させていただきます。私たちは「つながりが未来をつくる」という思いのもと、熊本県下の子どもの食堂へ北海道産じゃがいも510キロを支援し、食材を通して子どもたちの笑顔と安心に貢献する取り組みを行いました。

また、田植え体験会では約90名の子どもたちと土の感触を味わい、自然の恵みや仲間と協力する喜びを分かち合いました。さらに、熊本県肢体不自由児協会主催の移動動物園では、かき氷の提供を通して、子どもたちの輝く笑顔に出会うことができました。

地域と人、人と人がつながることで、より良い社会は必ず実現すると信じて活動しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

※ワイズメンズクラブ国際協会は、YMCAをサポートする世界的な奉仕団体です。

発行所／(公財)熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1  
TEL 096-353-6397(代)

発行人／伊藤 真太郎 編集／熊本YMCA ICR  
定価60円 購読料は会費に含む

[www.kumamoto-ymca.or.jp](http://www.kumamoto-ymca.or.jp)



公式LINE

### 熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動  
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

### 2025年度基本聖句

何事も愛をもって行いなさい  
コリントの信徒への手紙一 16章14節